

6月30日～7月3日の4日間に渡り、天気にも恵まれ小諸高校の文化祭「野岸祭」が行われました。
 1日目はプライスレス祭が校庭で行われ、強い陽差しの中、汗を流しました。
 2日目の一般公開日では、クラス・部活等、様々な催しが行われ、音楽科生徒の活躍が見られました。
 1年生は音楽棟ホールでミニ・コンサート、2年生はミュージカル、3年生はフランクフルトの販売とボンカレー広場でボンカレーライブを披露しました。
 また、弦楽部、音楽部、吹奏楽部、邦楽部の発表もあり、たくさんの方が足を運んでくださいました。
 そして、3日目のハイコモでは、各学年、息の合ったパフォーマンスを披露し、午後は今年初めて生徒に向けた校内祭を開き、文化部の発表もあふれ、盛りだくさんでした。
 2年生は毎年ミュージカルを発表しますが、毎年生徒の持つ力に驚かされます。
 今回は、2年生のミュージカル「サウンド・オブ・ミュージック」を鑑賞された保護者の方に感想を寄せていただきました。



「サウンドオブミュージック」 保護者代表
 音楽科2年生の一大イベントのミュージカルが完成するまでは、本当に大変な困難がありました。製作期間はおよそ半年。まずは何のミュージカルにするのか、から始まり台本・配役・演出・演奏・大道芸・照明・総監督、とすべて自分たちで決め、作り上げるという事は想像以上に大変な事でした。1か月をたった高瀬川先生から3回に亘る指導がありました。最初は共同制作で進める事は出来ず、本当に完成するのだろうか、とみんな不安な毎日と戦っていました。本番前数日のある日、自分自身の課題もあつた中で、不安や不満や苛立ちもあり、みんな本音でぶつかり合いました。みんなで言い合い、話し、そしてスッキリと気持ちも通って本番に臨む事ができたのだと思います。いざ本番！照明が暗くなり静かに聞こえてくる美しい音楽、マリアの歌声が会場を舞踏を優しく包み込みました。みんなが自分の役を一生懸命演じ、自分の役割をきちんとこなしている姿に感動しました。ストーリーもすくなく面白く、音響もすばらしくて本当に素晴らしい期間が過ぎました。カーテンコールの際には色々な事が頭に浮かび、気がつくと感じて涙が溢れていました。みんな本当に頑張りました！クラス全員で1つの物を作り上げる事の大変さを学び、仲間との絆も深まり、大きな試練を乗り越え、これが一歩へと進んで行く自信に繋がった事と思います。2年生でのミュージカル製作は、ご指導頂きました先生方、本当にありがとうございました。私たち保護者は一回り成長した子供達の姿を、これからも温かく見守っていきたいと思います。



さて野岸祭も終了、今度は部活のコンクールや定期演奏会にむけての練習が忙しくなりますね。しかし、3年生は将来に向け進路を検討しなければならない大切な時期でもあります。今年も、音楽科を卒業し進学した先輩、保護者の皆様から在校生の為にアドバイスを寄せていただきました。今日から保護者懇談会が始まります。3年生のみならず、1年生、2年生にとっても今後の進路を検討するうえで、ぜひ参考にしてください。

卒業生からのアドバイス

卒業生保護者アンケート

東京音楽大学 (指定校推薦入試)ピアノ専攻
 私が東京音楽大学ピアノ演奏家コースを受験すると決めたのは、3年生の4月でした。東京音大にはピアノ演奏家コースという特別なコースがあり、このコースに入ると2人の講師に師事できることを知って、この大学に興味を持ち始め、当時高校で師事していた先生に東京音大の教授を紹介していただき、実際にレッスンを受けてこの大学に決めました。ピアノ演奏家コースの他に普通科のピアノコースがありますが、課題曲数と時間に大きな違いがあり、ピアノコースではプログラムが10分なのに対して演奏家コースでは25分程度でした。25分間のプログラムは今までなかったもので、通し練習を中心に練習しました。その他にも試演会などにたくさん参加するなどして長期間の演奏に慣れる事がとても大事だと思います。学校でのレッスン以外に、紹介していただいた東京音大の教授のレッスンを月に毎月東京に通っていました。大変でしたが、大学の情報や今までの受験の話なども聞けるので、指導以外にも得られるものは大きかったです。私は指定校推薦で受けたので、実技演奏と面接だけでした。実技試験では演奏家コースだけが大学の大ホールで行われ、10人程度の審査員がいました。試演会などのほかにも本番は緊張せず演奏できました。結果はピアノコースは合格でしたがピアノ演奏家コースは不合格でした。演奏家コースはただ曲をミスなく弾くだけでなく、自分の思いを伝えられる演奏が求められます。私が師事している先生は演奏家のマナをやる事が大切だとおっしゃっていました。私にはまだその能力が足りていませんでした。現在、大学に入学して半年以上過ぎましたが、学年末の演奏家コース転科試験に向けて日々努力しています。

1. 進路先
東京音楽大学
2. 志望校の決定時期
高校3年4月頃
3. 志望動機および決定理由
師事していた先生と、東京音大の先生のレッスンと話を聞いて。
4. 学習方法
指定校推薦を考えていたので、英語塾に通っていました。寮はお勧めです。寮はピアノ専攻なので、アパートと比べるとピアノの持ち込み、防音設備等で、寮の中も静かだと思います。寮にはピアノのレッスン室が何室もあります。食事も2食あり、ピアノ練習も自由に出来、娘も私も入寮して良かったと思っています。
5. 受験等に要した費用
入学費用(入学金・学費など)232万円
レッスン費、交通費 約20万円
入寮費 8万円
6. 合格から入学までのアドバイス
11月に合格が決まり、入寮を希望しました。寮はお勧めです。寮はピアノ専攻なので、アパートと比べるとピアノの持ち込み、防音設備等で、寮の中も静かだと思います。寮にはピアノのレッスン室が何室もあります。食事も2食あり、ピアノ練習も自由に出来、娘も私も入寮して良かったと思っています。

愛知県立芸術大学 (一般入試) 声楽専攻

私は高校入学当初から国立音楽大学を志望しており、東京芸術大学を目指していました。2年秋頃に真剣に考え始め、私立の音楽大学も候補に入れていましたが、金銭面や環境の中で最終的に3年の2学期頃に第一志望東京芸術大学、第二志望愛知県立芸術大学と決定しました。一般入試に必要なセンター試験は2年の10月から英語の先生にプリントを貰うなど対策をしておき、3年冬休みでは、過去問や模範問題集などを積み重ね対策をしておきました。私はセルフチューニングを特に音学としていましたので毎朝、毎放課後に東京芸術大学、愛知県立芸術大学の練習を個人でやり、対策をとりました。実技の再演に關してですが、2年の頃から月に1回東京レッスンに通いました。受験生となる。ただ主攻だけ練習すればいいものではないのでしっかり時間を決めて毎日通っていました。東京芸術大学入試本番では、私は緊張をうまくコントロールできなく、失敗に終わってしまいましたが、その経験を活かし愛知県立芸術大学入試本番では、完璧とまでは行きませんが、少なくとも東京芸術大学の入試よりは上手に乗り切ることができました。私は現在、愛知県立芸術大学に通っており、とても有意義な大学生生活を送っています。経路の授業、実技のレッスン、全てが勉強になります。私は高校2年でウインター研修旅行に行った時からオラ歌手になろう夢があります。そのために今必死に勉強しています。夢があることが夢が今自分が勉強する原動力になっています。今やっていることは必ずいつか実ります。ですので皆さんも逃げずに挑戦してってください。応援しています。

- 1 御子弟の進路先
愛知県立芸術大学 音楽部 音楽科 声楽専攻
- 2 志望校の決定時期
1年生の時から進学するなら国立大学の受験を念頭にして来ました。2年2学期あたりから現実的に東京芸術大学、愛知県立芸術大学の進学を考えるようになり、愛知県立の推薦入試も考えていました。しかし、本人の東京音大受験したいという意思が強くなり、最終的には3年2学期に、第1志望東京芸術大学、第2志望愛知県立芸術大学と決めました。
- 3 志望動機および決定理由
声楽科になりたい夢の実現のために、一流の教授の元、声楽の勉強がしたいという願いと、声楽の講師の先生より、受験できるだけの力は付いてきたという言葉をいただいた事、国立大学であれば学費の面で抑えられる事も大きな理由でした。
- 4 学習方法 (一般教養含む)
学校でも授業を真剣に取り組みと共に、東京レッスン(講師より紹介いただいた声楽の先生)に月1回、3年2学期後半頃から2回ほど通いました。一般教養は3年よりセンター受験科目の英・国を中心に、センター試験の過去問、模範問題集を繰り返し解くことを心がけていました。苦手な英語は2年2学期後半あたりから教員の先生に直接指導をお願いしたり、問題プリントを出してもらっていました。
- 5 受験等に要した費用(受験準備、受験時、受験後入学金等)
・東京レッスン代(1回8,000円) それに伴うバス交通費など(10,000円くらい)時は新幹線のこともあった。
・センター試験受験料(18,800円) ・東京音大受験料(20,200円) ・愛知県立音大17,000円)
・それぞれ受験のためのホテル宿泊代、交通費など合わせて(120,000円くらい)
・愛知県立音大入学金(286,600円) 以外他に大学生協の保険、同窓会費、後援会費etc.(100,000円)
- 6 合格から入学までのアドバイス(住居探し、心構え等)
後期試験受験の場合、合格発表後のスケジュールが詰まるとなるので、(合格発表3月21日、入学手続き3月27日、入学式4月5日でした)合格発表前日に一人暮らし生活の家電・家具の下見をし欲しい物をだいたい決めた方がいいです。住みは24時間いつでも使える練習室があるなど設備の整った寮に入る事ができたので良かったです。
7 その他
進路を決めて行く間には時期ごとにいろいろな方向を考えましたが、最終的には実技のレベル、本人の意思、取り組み方など合わせ考えましたが、最終的には実技のレベル、本人の意思、取り組み方など合わせ考え、声楽の先生、本人、両親と面談し、進路の方針を明確にしました。それをみなで共有し、親はただそれが叶うことを信じ後押しを続けるのみでした。実現できた今、進路方針を明確にし、みなで共有出来たことは本当に大事な事だったと思います。迷いなく進んでいきます！



東京音楽大学 (一般入試) 器楽トランペット専攻

私は現在、東京音楽大学の2年生として勉強に励んでいます。高校1年生の時はずいぶん上手いかなと思っていましたが、トランペットは高校でやめようと思っていました。ですが、2年生の3月頃に大学でもトランペットを続けたいという気持ちで、どうも本気でやりたいと思うようになりました。音楽大学への進学を決めました。やるなら本気でやりたいだったので私立の中でトランペットのレベルが高い東京音楽大学を志望しました。私は3年生の9月まで吹奏楽部に所属していました。部活に所属していたことによりたくさん大きな舞台を経験出来たり、1人で練習するだけでは気づくことのできない事に気づくことが出来たりしました。3年間の部活を通して色々な面で成長することができ、今では部活に入っていないから色々とできていなかったかも...とも思います。部活を引退してから特別な事はしませんでした。高校で師事していた先生以外先生には師事をせず、センター試験に向けての勉強も学校での勉強と家庭学習のみでした。小諸高校はとても素晴らしい環境が整っています。音楽に対する熱い気持ちがあり、3年間本気で頑張ることができれば小諸高校で学ぶことだけでもいくらか成長できます。ですが、センター試験の勉強はしっかりと早い時期からやっていた方が良いでしょう。私は小諸高校で高校生活を送ることが出来本当に良かったと思っています。後輩のみなさんはとても恵まれた環境で音楽を勉強できることに感謝し、頑張ってください。応援しています！

- 1 御子弟の進路先
東京音楽大学 器楽専攻(トランペット)
- 2 志望校の決定時期
高校3年生 春頃
- 3 志望動機および決定理由
高校1年生の研修旅行で、東京音大を見学した事、後梅レッスンのアンドレ・アン先生のレッスンを見て志望した
- 4 学習方法 (一般教養含む)
通学時間が少なかったため、電車の中で学習しており、トランペット・ピアノはほとんど学校で時間を作ってやっていたようです。
- 5 受験等に要した費用(受験準備、受験時、受験後入学金等)
準備 他の方のオープンキャンパスのレッスンを回向受けにきました。(交通費のみ)
東京音大の受験講習会、年末に3日位(3万円くらい)
受験 センター試験(2万円) 東京音大(38,000円)
入学費用 231万円(1年分)
- 6 合格から入学までのアドバイス(住居探し、心構え等)
同じ大学へ行っている先輩に色々聞いて準備しました。楽器可の物件は、数が少なく、探すのが大変でしたが、後々音のトラブルがあると、本人も親も心配だと思い、自宅で練習できるところに決めました。
- 7 その他(進路決定や受験までの心構え等)
東京音大に決めたから、器楽リハビリアーツかで迷いましたが、今は本人がやりかけたトランペットを存分に学ぶことができる所を選んで上かったと思います。先生、先輩から、受験する大学の情報をよく聞いて、自分で努力することが大切だと思います。

この発行にあたり、個人の情報が特定されないよう多少文章に変更がございますが協力頂きました皆様にはご了承いただきお断り申し上げます。
 後輩の為、小諸高校音楽科に対し良いアドバイスを頂きました先輩の皆様及びア

もうすぐ夏休み♪暑い夏が始まります！
 今年は行事が盛り沢山です！！
 ウィーンから5名の学生が訪れ、演奏やイベントを通して交流会が行われます。
 また、全国総文祭が長野県で開催され、47都道府県の文化部が集結、他県のそして、2泊3日の合宿♪と最後まで盛り沢山ですが、定期演奏会に向けて大切な合宿になります。
 暑い日が続きますが、体調管理をしっかり行い、有意義な夏休みを過ごしましょう！！

<今後の予定>
7月20日(金)～26日(木)保護者懇談会(3時間授業)
7月27日(金) 終業式
7月28日(土) 夏期休業
7月28日(土) 長野県吹奏楽コンクール県大会
7月31日(火)～2日(木)、レッスン補講
8月3日(金)、4日(土) ウィーンキムナウム交流会
8月7日(火)～11日(土) 唐州総文祭
8月19日(日) 長野県合唱コンクール
8月20日(月)～22日(水) 夏季合宿(飯綱アルカディア)
8月24日(金) 始業式
8月27日(月) 奉迎式

第42回全国高等学校総合文化祭

2018信州総文祭

2018.8.7-11

開催まであと18日！！
ぜひ足を運んでね！！

